

学校だより

令和8年4月30日



5月号

NO. 437

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標

**自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子**

## 緑が輝く季節になりました

校長 高橋 美都子

茅ヶ崎公園の木々の緑がまぶしく輝く季節になりました。春先の淡い緑やピンクに包まれた公園も美しいのですが、まさに「山 滴る」この時期は、朝日を浴びて益々色濃くなる木々の葉の様が素晴らしく、登校してくる子どもたちの笑顔も、その力を浴びて輝いて見えます。スタートから1ヶ月。いろいろなところで子どもたちの頑張る姿が見られます。

今年もきょうだいで登校する児童を多く見ます。特に、1年生と一緒に歩いているお兄さんお姉さんは、心を寄せながらも張り切っている様子がかうかがえます。「おはようございます。」とお姉さんがあいさつをすると、真似をして「おはようございます。」という弟もいます。恥ずかしがっている妹には「あいさつするんだよ。」と声をかける姿も見られます。笑顔であいさつする子が、今年が多いように感じます。上級生が進んでしているあいさつが下級生にも伝わっていることを感じます。

校庭では、リレーの授業。チームでの話し合い活動が行われていました。話している人の顔を見て、うなずきながら聞いている子もいますし、話したいことがあるようで待ちきれない様子の子もいます。一つの目標に向かって、互いに力を合わせて取り組んでいる様子が伝わってきます。

初めてのことはばかりの1年生。給食では保護者ボランティアのご協力を得て、配膳の仕方を覚えめました。また片付けも上手にできるようになり、当番が協力して食器や食缶を給食室まで運びます。「今日、全部食べられました。」と報告を聞くこともあります。多くの方に支えられて成長している姿が見られます。

学校で生活する中で、子どもたちはたくさんのかかわり合いを経験します。心地よいものもあれば、そうでないものもあるかもしれません。ただ、その一つひとつが成長の糧となっていることは、間違いありません。自分は大切で、必要な存在だという自己肯定感や自己有用感のかかわり合いの中で育ちますし、自分と考えが違う人と出会ったり、違いを受け入れたり、トラブルを解決したりすることや協力して学びを作り上げたり、考え深めたりすることは、学校という社会で学ぶ大切なことだと考えます。今年度も、かかわり合うことの楽しさや心地よさ、大切さを実感し、毎日の生活を豊かに過ごしていける子どもたちを育てていきたいと考えています。

ゴールデンウィークが始まりました。4月から変化の大きい生活が続いた子どもたちです。しっかり休んでエネルギーを蓄えられますようお願いいたします。次の登校日も緑が輝く中、笑顔であいさつをして、豊かにかかわり合うことのできる学校生活が送れますようによろしくお願いいたします。